

令和3年度

函館白百合学園高等学校

推薦入学試験問題

国語

令和3年1月21日(木)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は□から□まであり、13ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出下さい。

次の問いに答えなさい。

問一 次の——線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 法をオカさない方法で切り抜ける。      ② 仏前に花をソナえる。
- ③ 事のシンギを確かめる。      ④ ノウゼイは国民の義務だ。
- ⑤ 無理な要望をコバむ。      ⑥ 彼はいつもケンキョだ。
- ⑦ ミツペイされた空間。      ⑧ 支払いの免除をシンセイする。

問二 次の——線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 全責任を委ねられて緊張する。      ② 悪循環に陥るのは避けられない。
- ③ 紅葉狩りに行く。      ④ 本を読んで感涙にむせぶ。

問三 次の——線の内容を表す四字熟語を、それぞれア～エから選びなさい。

- ① 世の中はさまざまに変化するの、常に情報には敏感でいなければいけない。

ア 五里霧中      イ 傍若無人      ウ 千変万化      エ 首尾一貫

- ② 本日来て下さった方々との出会いを一生に一度のこととして大切にし、よい時間を過ごしていただけるよう努めます。

ア 一朝一夕      イ 一長一短      ウ 一進一退      エ 一期一会

問四 次の慣用句の□に、からだの一部を表す漢字一字を入れなさい。

- ① □を焼く || 取り扱いに困る。
- ② □をとがらす || 不満そうな顔をする。
- ③ □が高い || 得意になっている様子。

問五 次の□にあてはまる故事成語を、後のア～エからそれぞれ選びなさい。

- ① もう負けられないと、我がチームは□で臨んだ。
- ② 人生□。試合に負けたからってがっかりするな。

ア 杞憂きゆう

イ 塞翁が馬さいおうがば

ウ 蛇足

エ 背水の陣

問六 次の行書の特徴としてあてはまらないものを、ア～エから一つ選びなさい。

# 取

ア 点画の連続

イ 筆順の変化

ウ 点画の方向や形の変化

エ 点画の省略

呂尚父は古代中国の人物である。次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

呂尚父の妻は、貧しい暮らしが辛くて離婚してしまった。

離婚した妻が戻って来て、元のようになることを

呂尚父が妻、家を住みわびて離れにけり。呂尚父、王の師となりて、**1**いみじかりける時、かの妻かへり来て、本のもとごとくあらむ事を請ひ望む。その時に呂尚父、桶おけ一つを取り出でて、「これに水いれよ」といふまに**2**入れつ。「こぼせ」といへば、こぼしけり。

どうして入れ戻せようか

私との縁が尽きたこと

さて、「**3**本のやうに返し入れよ」といふ時、妻笑ひて、「土にこぼせる水、いかでか返し入れむ」といふ。呂尚いはく、「汝なんぢ我に縁つ尽きしこと桶の水をこぼせるに同じ。今さらいかでか帰り住まむ」とぞいひける。

どうして戻って住めようか

問一 —— 線**1**「いみじかりける時」とはどういう時か、最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア たいそうみじめだった時
- イ たいそう貧しかった時
- ウ たいそう立派であった時
- エ たいそう悲しかった時

( 『十訓抄』 )

問二 ――線2「入れつ」の主語を本文中より一字で書き抜きなさい。

問三 ――線3「本のやうに返し入れよ」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 「やうに」を現代仮名遣いに改めなさい。
- (2) 何を「返し入れよ」と言っているのか、本文中より一字で書き抜きなさい。

問四 この話の内容として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア 桶からこぼれた水ももう一度汲めばもとに戻るように、二人の仲も何度でもやり直せるということ。
- イ 桶からこぼれた水がもとには戻らないように、二人の仲も二度ともとのようには戻らないということ。
- ウ 桶からこぼれた水が地面を固める効果をもたらすように、二人の仲もこれまで以上に睦まじくなるということ。
- エ 桶からこぼれた水が原因で二人は別れたと思われたが、本当の理由は妻が嫉妬深かったからということ。

問五 『十訓抄』は鎌倉時代に成立した説話集だが、同じ鎌倉時代の作品を、ア～エから選びなさい。

- ア 奥の細道
- イ 竹取物語
- ウ 源氏物語
- エ 平家物語

「僕（勝利）」と五歳年上のいとこ「かれん」とは互いに想い合っているが、ささいなことがきっかけで二人の仲はぎくしゃくしている。次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

X人は、どうして贈り物をするんだろう。

①ある種の鳥や動物のオスは、求愛する相手のメスに食べ物プレゼントするらしい。そうすることでメスに受け入れてもらってなんとか交尾にまでこぎつけ、自分の種を残そうという本能からだそうだ。

もちろん人間の中にだって「1」だけで女にプレゼントする男はいるけれど、人間のする贈り物は必ずしも本能にもとづいたものじゃない。

誕生日やクリスマスに始まってバレンタイン・デーにホワイト・デー、お中元やおA歳暮に、進学や就職や結婚などのお祝い、そしてそのお返し……。

②ある人はそれを、「2」だと言うかもしれない。人間関係を円滑にするための手段に「a」〜とか、物で相手の気持ちを惹こうとするなんて「3」だと言う人もいるかもしれない。

でも僕は、そうは思わない。自分が大切に思っている人を喜ばせたいという気持ちはきつと、誰もが心の中に持っているものだ。だから世の中には「人に物をあげるのが好き」という人間がけっこうたくさんいる。もちろんそこには「相手の喜ぶ顔を見ると自分が嬉しいから」というワガママで自己中心的な欲望も③あるとは思っただけで、でもそれって、いけないことだろうか？

ふつうは、誰かのために自分を犠牲にするという行為は立派なことのように言われているし、たとえば一つしかない救命具を他人に譲って死んでいった人なんかは聖人のように祭りあげられがただけで、僕はそういうBビダンを聞くたびにふっと思っ。自分の命を他人に譲って死んだ人は、そういう1崇高な行為を選ぶことのできた自分に満足していたんじゃないか……そうすることで自分が嬉しいからこそ、その道を選んだんじゃないだろうか、と。

これは決して、その人のした行為が立派じゃないとか自己満足に「a」〜とかいう意味で言っているわけじゃなくて、僕が思うのは要するに、「自分が○○パーセント苦痛しか感じられないような状態で、誰かの犠牲になることを選べる人はまずいない」ということなのだ。そこには、どんな形であれ、その人自身の満足が必ず伴っているんじゃないかということだ。

でも、幸せの基本って、本来そういうものじゃないだろうか。

相手を喜ばせることで自分も喜べて、自分の喜ぶ顔がさらに相手を喜ばせることができるとしたら、それはたぶん、理想的な関係だ。

だから僕らは、互いに贈り物をしあう。まるで、「自分一人だけじゃ幸せになれない」という思いを確認しあうかのように。物を贈るという行為は、同時に、「あなたがいてくれるから孤独じゃない」というメッセージを相手に送ることも④あるのだ。

ただ、難しいのは——こちらがどんなに贈りたくても、それが必ず相手に受け入れてもらえるとは限らないということなわけで、お互いの関係がうまくいつているときならいいけれど、変にぎくしゃくしているときや相手を怒らせてしまったときなんかには、タにプレゼントなど贈ろうものならかえって逆効果ということにもなりかねない。それこそ、物で釣ろうとしているとか、ご機嫌取りのように思われたりして、ますますドツポにはまる場合だってありうるのだ。

白状すると、僕がいま悩んでいるのもまさにそのことだった。僕たちはいま、二台の車に分乗して、新潟の湯沢スキー場へ向かっている。なんと、総勢十名の大所帯だ。メンバーは、『風見鶏』のマスターと由里子さん、中沢氏と彼の草野球仲間のアンパンマン、丈と京子ちゃん、陸上部マネージャーの星野りつ子とネアンデルタール原田先輩、そして、かれんと僕。

どうしてこういう面子になったかといえ、**2**それが僕にもよくわからない。なんというか、ほとんど**C** デンセンビョウみたいな感じにするすると話がひろがって、結果的にこうなってしまったのだ。

じつは、かれんに贈るために由里子さんに作ってもらった指輪は、すでに完成して僕の手もとに**3**ある。それもそのはず、今日はもう十二月の二十六日だ。本来なら二日も前にかれんに渡していなければならぬはずなのに、なんたることか、指輪の箱は今の瞬間も、車の後ろに積まれた僕のスキーバッグの中に入っている。持ってこようかどうしようか迷ったのだけれど、**4**結局持ってきてしまった。もしかしてもしかしたら、かれんに渡せるような機会がめぐってくるかもしれないという、一筋の希望にすぎないように。

こうなってしまった理由は、まったく単純だった。イヴの夜、僕がかれんと大げんかをしたからだ。けんかの原因もやっぱり単純だった。僕のくだらない嫉妬がすべての元凶なのだ。

悪いのは自分のほうだとわかっているのに、僕はいまだにかれんに謝ることができないでいる。僕に勇気がないのはもとより、かれんのほうでもなんとなく僕を避けているからだ。

ほとんど目を合わさず、ろくに口もきかないという状態に突入してから、すでにまる二日。気まずい時間が長引けば長引くほど、苛立ちはつのつていくばかりだった。

『雪の降る音 おいしいコーヒーのいれ方Ⅳ』 村山 由佳

※設問の都合上、漢字などの表記を改めました。

問一 「**1**」～「**3**」に当てはまる適当な言葉を、ア～エからそれぞれ選びなさい。(同じものを二度答えてはいけません。)

- ア 不純      イ 義理      ウ 下心      エ 純粹

問二 へ **a** へに共通して入る言葉として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア ありえない      イ なりえない      ウ かぎらない      エ すぎない

問三 線**1**「崇高な行為」とはどのようなものと「僕」は考えているか、十九字で書き抜きなさい。

問四 線**2**「それが僕にもよくわからない」とあるが、その時の「僕」の心情を表す言葉として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア とまどっている      イ 気もそぞろである      ウ 後ろめたく思っている      エ 投げやりになっている

問五 線**3**「ある」と性質が同じものを、線**1**～**4**から一つ選びなさい。

問六 線**4**「結局持ってきてしまった」のはなぜか、その理由を七十字以内で書きなさい。

問七 ———線X「人は、どうして贈り物をするんだろう。」とあるが、「僕」はその理由をどのように考えたか。それを説明した次の文章中の「**A**」〜「**E**」に入る言葉を、指定の字数で文中から書き抜きなさい。ただし、「**E**」はその最初と最後の七字を書き抜くこと。(句読点も一字として数えます。)

人は「**A** 二十四字」を誰しも持っているものだ。相手の喜ぶ顔を見ると自分が嬉しいという気持ちには、一見「**I** 八字」も含まれているかもしれないが、自分のした行為に「自分が嬉しいから」という自分自身の満足が伴っている時、その人は「**U** 二字」だといえる。人に物を贈るといふ行為は、「**E** 四十字」という理想の関係の確認となるから。

問八 ———線A〜Cの漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直しなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

近代社会は、一八世紀のフランス革命から始まったと言われているが、簡単に言うところにいる皆さん、中学一年生から先生まで、すべてが同じ「一」である、ということなのだ。あらゆる人は「一」であって、それ以上でもそれ以下でもない。一番わかりやすい例は、投票の構造だ。総理大臣も一票だしフリーターも一票。人はすべて同じだ、という捉え方をする。

(中略1)

近代社会は理念として全員が同じ重さだという思想に基づいている。ほんとうに全員が一票を持つことができたのは二〇世紀に入ってからであるし、いまだに差別はなくなっていないが、この理念を守り続けようとしている。

確かに**1**たいせつな考え方だが、だれもが、自分はどういう存在でありそれを意味のあるものとして肯定できるか、という問いに向き合わざるをえない。近代社会は、ものすごく重いことを一人ひとりに要求しているのだ。

そんな大きい責任を**A**カ<sub>レ</sub>せられている今の時代であるにもかかわらず、若い人に限らず、すべての世代が、**2**どん<sub>ど</sub>ん無力になっていると感じている。大げさな言い方だとも思うかもしれないが、では、この中に、お産のときに赤ちゃんを取り上げることができない人はいるだろうか。恐らく**B**皆<sub>無</sub>だろう。へその**C**才<sub>ハ</sub>はどの辺りで切るか、とか、産声を上げさせるにはどうすればいいかとか、まったく知らないはずだ。昔は、こういったことは女性であれば全部できたのだ。

(中略2)

出産、調理、排泄物の処理、治療、看護、教育、子育て、交渉など、生きるうえで欠かせない事柄を、私たちは知らないうちにすべて、他人に任せるようになった。少しでも安心して安全に暮らせるように、とそれぞれの「プロ」を育ててきたのだ。普段の生活のことは行政やサービス会社に任せておけば安心、安全だし、病気になるばしつかりとした治療を受けられる。子どもは学校で勉強するようになったし、めんどうなめめ事は弁護士に頼めば損はない。排泄物はペダルを踏むだけできれいになるし、介護が必要ななら電話をすればいい。

生活のあらゆる面でそれぞれのプロがいるから、なんの不安もないし健康でいられる。寿命が延びたことからうかがえるように、プロを育てたことは社会にとって間違いなくプラスになった。ただ、プラスは必ず**3**マイ<sub>ナ</sub>スを含んでいるもので、プラスの分何を失ったかという、われわれ自身の能力だ。一人では何もできない無能、**disable**の状態になってしまった。

そんな私たちが今の社会でできること、それはクレームをつけることだけ。行政にも会社にも、少しでも不満があれば文句を言う。これだけは自信を持つてできる。なぜか？ お金を払っている、義務を果たしている、と主張できるからだ。払った金額に見合うサービスを受

けるべきで、かなわなければ文句を言えればいい。しかもそれを当然のように言う。皆さんも、授業がつまらなかつたり成績が下がったときに、ちゃんと授業料を払っているのにこの頃の先生はサービスが低下している、などとやっていなければよいのだが……。

近代社会は、全員が責任を持った「一」である市民社会をつくらうとしていたはずなのに、結局私たちは「市民」ではなく「顧客」になってしまった。市民とは、自分たちの大きな問題は自分で判断し自ら担う主体を意味する。私たちは、自分たちの安心と安全のためにプロを育て、「委託」という道を開拓してきた。しかしその制度の中で暮らすうちに、自分が持つ技や能力を磨くことを忘れてしまった。自分で物事を決めて担うことができる市民ではなくなり、ただのサービスの顧客に成り下がったのだ。

この暮らしは、私たちをだめにする。すべて他人任せで、自分にはなんの責任もなく、お前が悪いんだと言うだけ。それは確かに楽だ。

皆さんに限らずどんな世代の人も、なぜ自分はいつもこうなんだろう、なぜ自分はいつもうまくいかないだろう、といった、釈然としないふさいだ気持ちを抱えていると思う。そんなとき、この世の中はちゃんと理由をつけてくれるようになった。それが怖い。例えば最近カウンセラーたちが、「トラウマ」や「アダルトチルドレン」「うつ」などといった言葉を使う。これらは本来慎重に扱うべき言葉なのだが、**4**安易に使われている。人生は、そのようなひと言で言い当てられるほどシンプルではないはずだ。

**5**今や日常会話でも使われる「トラウマ」は、とてもありがたい。「あなたがこのような性格になったのは、あるいはがんばっても自分を変えることができないのは、実は忘れたつもりになっているつらい思い出があり、それがどうしても影響を与えてしまうからだ」ということらしい。こんなストーリーはとてもわかりやすいから、人は簡単に飛びついてしまう。しかし、人が抱えているふさはぎは決してそんなものではない。

あるとき、精神科医の香山リカさんがおもしろいことを言っていた。「あなたはうつ的な状態です」と診断しても、今の患者さんは受け入れず、「違います、私はどう病なんです」と、言い張るそう。つまり病気にしてもらわないと困る、というわけだ。理由は簡単だ。病気であれば、「私のせいではない」からだ。病気なのだから、自分は治療されるべき対象になり、困難な状態を引き受ける必要がなくなるわけだ。ふさはぎやしんどいことには、自分で真正面から格闘しなければどうしようもない。だからますますつらくなる。「うつ病」と「うつの」では、決定的に違う。「病気である」とラベルを付ければ、自分がしんどい思いをせずにその状況から抜け出すことができるから、「私のせいではないんだ」とほっとする。しかし、これは単に逃げているだけ。一番してはいけないことだ。そういう思考回路に陥ると、**6**次第にもこの考え方が短絡的になっていってしまうのだ。

問一 ―― 線1 「たいせつな考え方」の内容として不適切なものをア～エから一つ選びなさい。

ア 中学一年生から先生まで、すべてが同じ「一」であること。

イ 人はすべて同じだ、という捉え方。

ウ 全員が同じ重さだという思想。

エ いまだに差別はなくなっていないこと。

問二 ―― 線2とあるが、その理由を端的に示す、中略2の直後の段落から四十字～四十五字の一続きの部分を探し、その初めと終わりの五字を、解答らんにあうように書き抜きなさい。

問三 ―― 線3とあるが、「マイナス」の内容を二十字前後で書きなさい。

問四 ―― 線4 「安易」の意味を考えるA～Dの生徒のうち、正しくない考え方をしている者を一人選びなさい。

A 「安易」の「易」は「貿易」の「易」でもあるよね。多分、読みが違うってことは、意味も違うんじゃないかな。

B そうそう。それに「安」と「易」は、ほぼ同じ意味の字なんじゃないかと思う。

C いや。「安い」と「易」は意味が同じだとは思えないな。だって「貿易」って高級品のイメージでしょ？

D そうかな。「易」の字も確か、「言うは易く行は難し」という言葉を聞いたことがあるよ。だから読みも意味も同じだよ。

問五 ——— 線**5**とあるが、どうして「ありがたい」のか。六十字以内で説明しなさい。

問六 ——— 線**6**とあるが、「短絡的」な行動の例として、最も適当なものをア～エから選びなさい。

- ア デパートで試着した服が、帰宅してみると自分に似合わなく思い、電話でそれを勧めた店員にクレームをつける。
- イ テストで点数がよくなかったのは、授業に集中していなかったためだと考え、次の試験までの授業に集中しようと思う。
- ウ 内科で「胃腸炎」と診断されたのだが、念のため、別の医院でも診察を受けることにする。
- エ 電化製品が故障したが、保証書を読むとまだ保証期限が切れていなかったため、家電店に電話して修理を依頼する。

問七 ——— 線**A**～**C**の漢字は読みを書き、カタカナは漢字に直しなさい。



推薦入試

令和三年度 函館白百合学園高等学校入学試験

国語

解答用紙

受験番号

氏名

得点

一 問一 ① さない ② える ③ ④

⑤ む ⑥ ⑦ ⑧

問二 ① ねられて ② る ③ ④

問三 ① ② 問四 ① ② ③ 問五 ① ② 問六

二 問一 問二 問三 (1) (2) 問四 問五

三 問一 1 2 3 問二

問三

問四 問五

問六

問七 ア

イ ウ エ

問八 A B C

四 問一 問二 から

問三

問四

問五

問六

問七 A せられて B C

小計

小計

小計

小計

国語

解答用紙

推薦入試

受験番号

氏名

得点

一 問一 ① 侵 さない ② 供 える ③ 真偽 ④ 納税

⑤ 拒 む ⑥ 謙虚 ⑦ 密閉 ⑧ 申請

問二 ① ゆだ ねられて ② おちい る ③ もみじ ④ かんるい

問三 ① ウ ② エ 問四 ① 手 ② 口 ③ 鼻 問五 ① エ ② イ 問六 エ 各①点

二 問一 ウ ②点 問二 妻 ②点 問三 (1) ように ①点 ② 水 ②点 問四 イ ③点 問五 エ ①点

三 問一 1 ウ 2 イ 3 ア ②点×3 問二 エ ②点

問三 誰かのために自分を犠牲にするという行為 ③点

問四 ア ②点 問五 ③ ②点

問六 このスキ―旅行の間に けんかして渡しそびれていた指輪をかかれんに渡す機会がめぐってくるかもしれないという一筋の希望にすがつたから。 ⑥点

問七 A 自分が大切に思っている人を喜ばせたいという気持ち ③点×4

I 自己中心的な欲望 U 幸せ E 相手を喜ばせる けることが出来る

問八 A せいば B 美談 C 伝染病 ①点×3

四 問一 エ ④点 問二 生きるう え う になつたから ④点

問三 能力を失つて、一人では何もできなくなる。 ⑥点

問四 C ④点

問五 ト ラ ウ マ が あ る と 言 わ れ れ ば 、 自 分 の 性 格 に 問 題 が あ つ た と し て も 、 そ れ は 自 分 の せ い で は な く 、 そ れ を 解 決 す る 責 任 は な い か ら 。 ③点

問六 ア ④点

問七 A 課 せられて B かいむ C 緒 ①点×3

小計 20

小計 11

小計 36

小計 33